

10. 胃がんに対するESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）の実施件数

定義

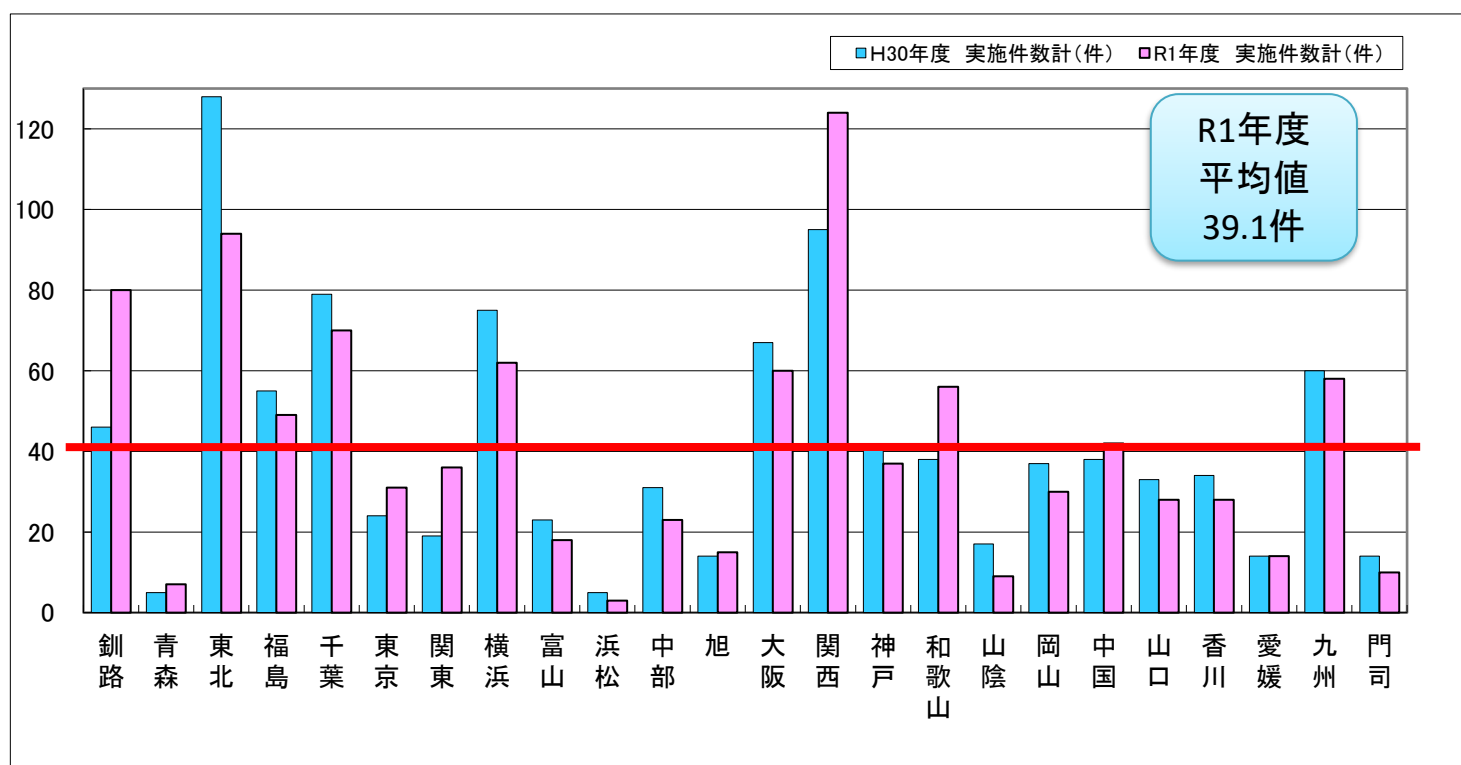
胃がん患者に対し、ESD（K653 内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術 2 早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術）を実施した件数

指標の解説

施設調査より抽出

ESDの有用性としては、開腹手術と比較し、入院期間の短縮、術後の疼痛軽減等が挙げられており、当該手術の実施件数により患者の負担軽減、社会復帰への貢献度を評価する。

10. 胃がんに対するESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）の実施件数



No	施設名	H30年度			R1年度		
		外来	入院	実施件数計(件)	外来	入院	実施件数計(件)
1	釧路	0	46	46	0	80	80
2	青森	0	5	5	0	7	7
3	東北	0	128	128	0	94	94
4	福島	0	55	55	0	49	49
5	千葉	3	76	79	2	68	70
6	東京	0	24	24	0	31	31
7	関東	0	19	19	0	36	36
8	横浜	0	75	75	0	62	62
9	富山	0	23	23	0	18	18
10	浜松	0	5	5	0	3	3
11	中部	0	31	31	0	23	23
12	旭	0	14	14	0	15	15
13	大阪	0	67	67	0	60	60
14	関西	0	95	95	0	124	124
15	神戸	0	41	41	0	37	37
16	和歌山	0	38	38	0	56	56
17	山陰	0	17	17	0	9	9
18	岡山	0	37	37	0	30	30
19	中国	0	38	38	0	42	42
20	山口	0	33	33	0	28	28
21	香川	4	30	34	0	28	28
22	愛媛	0	14	14	0	14	14
23	九州	0	60	60	0	58	58
24	門司	0	14	14	0	10	10
25	長崎	0	15	15	2	9	11
26	熊本	0	24	24	0	21	21
合計		7	1,024	1,031	4	1,012	1,016
平均	500床以上	0	69	69	0	67	67
	400床以上	1	37	38	0	43	43
	300床以上	0	34	34	0	32	33
	300床未満	0	9	9	0	11	11

※専門医不在の施設については除外した。